

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

人に自慢したくなる家

グループの名称

みやぎ長期優良住宅化を推進する会

直近採択グループ番号

06-0148-0086

(グループ代表者)

代表者名

澤口 司

代表者印

代表者所属先

株式会社スイコー

代表者所在地

宮城県仙台市泉区松森字陣ヶ原50-1

代表者電話番号

022-374-0011

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社スイコー

事務局担当者名

千葉 由章

印

事務局郵便番号

981-3111

事務局所在地

宮城県仙台市泉区松森字陣ヶ原50-1

事務局電話番号

022-374-0011

事務局FAX

022-374-0019

事務局担当者E-mail

yoshiaki@suikoo.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		2	棟			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		2	棟			
					200	m <sup>2</sup>			
					200	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	未施工業者を優先し、その上で受注が確実な施工業者に順次配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 人に自慢したくなる家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) みやぎ長期優良住宅化を推進する会	(結成年) 2016 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0148-0086	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	対象エリア 宮城県3～4地域毎に定められている平成25年度改正省エネ基準の適合を最低基準とする	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	それぞれの気候・風土に適した高級性の高い木造住宅に地域材と自然エネルギーを活用した住宅様式とする	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	四季を通じ、快適かつ省エネルギーに配慮した住宅デザインとする	○
④①～③の背景	住宅に携わられる企業として地域環境に寄与する長期優良住宅のさらなる普及・推進を図り、より良い住環境の提供に貢献したい	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	断熱性能は平成25年度改正省エネ基準を必須とし、高効率かつ省エネルギー性能の高い設備を採用することで長期優良住宅を目指す。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 尺貫法を用いた在来工法	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準パッケージと追加オプションを設定し使用する建材種類の最小化を行っている	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準パッケージと追加オプションを設定し使用する建材種類の最小化を行っている	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 発注管理システムを導入し、グループ構成員も加入している	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 発注管理システムを導入し、グループ構成員も加入している	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局内に合理化検討委員会を設置し、グループ内各事業者と生産体制の問題点、改善点を都度協議していく	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準パッケージの整備。事務局が中心となり施工事業者、建材流通事業者等と定期会合を実施する	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内共通の設計・施工に関する標準仕様を定期会合の中で協議・検討していく	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅瑕疵担保責任保険への加入、同保険加入に関する検査を徹底していく	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内共通の見積様式を定期会合の中で単価等の整合をとる	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 国土交通省と経済産業省、そして民間の協賛団体が連携しているリフォームで生活向上プロジェクトにてゼネラ開催	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完全実施、定期会合等で導入メリットの共有をはかりながら推進していく	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が中心となり勉強会を実施。資格取得を奨励する	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完全実施することで、グループ構成員が働きやすい環境を形成	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が中心となり安全改善マニュアルを作成。また健康対策の一環として禁煙者を表彰する制度を準備する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 人に自慢したくなる家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みやぎ長期優良住宅化を推進する会	(結成年) 2016 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0148-0086			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は任意の第三者機関を活用	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は任意の第三者機関を活用	◎	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各現場ごとのIDを発行し、現場ごとに確認可能	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工事履歴情報より定期点検を実施する	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修範囲・方法の設定とそれを考慮した保証書の発行を行う	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主と共有のチェックシートを活用する	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住設メーカーショールーム、各地域コミュニティセンターにてセミナーを定期的で開催	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォームで生活向上プロジェクトにて補助金セミナーを開催	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が維持管理委員会を兼任する	○		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり協議の上、施工業者へ引き継ぐものとする	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に瑕疵担保保険会社の担当と実施	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の施工経験のある工務店が現場見学会を兼ねて実施	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保責任保険への加入	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保責任保険の書類にて事務局が確認	○	
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅等の勉強会を開催することで施工業者の技術力の底上げをはかる	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 3	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 1	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 宮城以北への断熱研修・意見交換会を行い技術力の向上を計る	◎	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 人に自慢したくなる家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みやぎ長期優良住宅化を推進する会	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0148-0086	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須) 主要構造材(柱・梁・桁・土台等)	
	② 地域材利用の1棟当 たりの割合(必須) ■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使 用部位(必須) 主要構造材 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明 原木供給事業者⇒製材事業者⇒プレカット事業者⇒建材流通事業者⇒施工事業者⇒施主	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 □ ない ■ ある → 内容: 定期会合による情報交換会を実施。事務局からの情報発信による共有をする。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組 □ ない ■ ある → 内容: 定期会合による情報交換会を実施。事務局からの情報発信による共有をする。	○
	② グループ全体における地 域材の需給予測 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が中心となりグループ内の地域材の使用予定表の把握に努め、原木供給・ プレカット事業者と情報交換を行いグループ内に情報共有の徹底を図る	○
c	①-1 畳の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 栗駒燻煙杉の活用	○
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 珪藻土塗りの活用	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。 地域の特色ある素材や地域の伝統や文化・風習を家づくりに上手に取り入れるよう配慮する	○
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	宮城県を中心としたグループです。グループ代表者は震災翌日から無償にて仙台市内の皆様へ応急処置を行いました。現在も復興住宅に携わっている施工業者もおり、今後もグループの新規構成員を募り復興のスピードを上げ、被災地域に根差した取り組みを行う。新規構成員も地元の業者を募り、地域の活性化を進めていく	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	畳事業者など熊本産の資材を取り組んでいくようにする。また、被災地域近隣の繋がりが業者へ、東日本大震災の復興にあたっての取り組みなどの情報共有を行っていく	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 人に自慢したくなる家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 宮城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> みやぎ長期優良住宅化を推進する会	<small>(結成年)</small> 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0148-0086	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。